

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ある春の日暮です。

唐の都、洛陽（らくよう）の西の門の下に、ぼんやり空を仰いでいる、一人の若者がありました。

若者は名を杜子春（とししゅん）といって、元は金持の息子でしたが、今は財産をつかい尽くして、その日の暮しにも困る位、あわれな身分になっているのです。

何しろその頃洛陽といえ、天下に並ぶものがない、はんじょうを極めた都ですから、往来にはまだしつきりなく、人や車が通っていました。門一ぱいに当たっている、油のような夕日の光の中に、老人のかぶった紗（しゃ）の帽子や、トルコの女の金の耳環（みみわ）や、白馬に飾った色糸の手綱（たづな）が、絶えず流れて行くようすは、まるで①画のような美しさです。

しかし杜子春は相変わらず、門の壁に身をもたせて、ぼんやり空ばかり眺めていました。空には、もう細い月が、うらうらとなびいた霞（かすみ）の中に、まるで爪の痕（あと）かと思う程、かすかに白く浮んでいるのです。

「日は暮れるし、腹は減るし、その上もうどこへ行っても、泊めてくれる所はなさそうだし——こんな思いをして生きている位なら、いつそ川へでも身を投げて、死んでしまった方がましかも知れない」

杜子春はひとりさつきから、こんな取りとめもないことを思いめぐらしていたのです。

するとどこからやって来たか、突然彼の前へ足を止めた、片目すがめの老人があります。それが夕日の光を浴びて、大きな影を門へ落とすと、じっと杜子春の顔を見ながら、

「お前は何を考えているのだ」と、横柄に声をかけました。

「私ですか。私は今夜寝る所もないので、どうしたものかと考えているのです」

老人の尋ね方が急でしたから、杜子春はさすがに眼を伏せて、思わず正直な答えをしました。

「そうか。それは可哀そうだな」
老人はしばらく何事か考えているようでしたが、やがて、往来にさしている夕日の光を指さしながら、

「ではおれがいいことを一つ教えてやろう。今この夕日の中に立って、お前の影が地に映ったら、その頭に当る所を夜中に掘って見るがいい。きっと車に一ぱいの黄金が埋まっているはずだから」

「ほんとうですか」

②杜子春は驚いて、伏せていた眼をあげました。ところが更に不思議なことには、あの老人はどこへ行ったか、もうあたりにはそれらしい、影も形も見当りません。その代り空の月の色は前よりもなお白くなって、休まない往来の人通りの上には、もう気の早いこうもりが二三匹ひらひら舞っていました。

【芥川 龍之介「杜子春」より】

問1 —線部①画のような美しさ とありますが、これはある街の様子を表したものです。その街の名前を、文章から二文字で書き抜きなさい。

問2 —線部②杜子春は驚いて、伏せていた眼をあげました。とありますが、杜子春は何に驚いたのか、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 老人の急な尋ね方
- イ 往来にさしている夕日の光
- ウ 老人が教えてくれたこと
- エ 老人が杜子春の目の前から消えたこと

解答

問1 洛陽

問2 ウ

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昔、①ある国に有名な陶器師がありました。代々陶器を焼いて、その家の品といえば、遠い他国にまで名が響いていたのであります。代々の主人は、山から出る土を吟味いたしました。また、いい絵かきを雇いました。また、たくさん職人を雇いました。花びんや、茶わんや、さらや、いろいろのものを造りました。旅人は、その国に入りますと、いずれも、この陶器店をたずねぬほどのものはなかったのです。そして、さっそく、その店にまいりました。

「ああ、②なんという立派なさらだろう。また、茶わんだろう：：。」と、いって、それを見て感嘆いたしました。

「これを土産に買っていこう。」と、旅人は、いずれも、花びんか、さらか、茶わんを買ってゆくのであります。そして、この店の陶器は、船に乘せられて他国へもゆきました。

ある日のごときでございます。身分の高いお役人が、店頭にお見えになりました。お役人は主人を呼び出されて、陶器を子細に見られまして、

「なるほど、上手に焼いてあるとみえて、いずれも軽く、しかも手際よく薄手にできている。これならば、こちらに命令をしてもさしつかえあるまい。じつは、殿さまのご使用あそばされる茶わんを、念に念を入れて造ってもらいたい。それがために出向いたのだ。」と、お役人は申されました。

陶器店の主人は、正直な男でありまして、恐れ入りました。

「できるだけ念を入れて造ります。まことにこの上の名誉はございませんしだいです。」と、いって、お礼を申しあげました。役人は立ち帰りました。その後で、主人は店のものを全部を集めて、事のしだいを告げ、

「殿さまのお茶わんを造るように命ぜられるなんて、こんな名譽のことはない。おまえがたも精いっぱい、これまでにない上等な品物を造ってくれなければならぬ。軽い、薄手のがいいとお役人さまも申されたが、陶器はそれがほんとうなんだ。」

と、主人は、いろいろのことを注意しました。それから幾日かかかって、殿さまのお茶わんができあがりしました。また、いつかのお役人が、店頭へきました。

「殿さまの茶わんは、まだできないか。」と、役人はいいました。「今日にも、持って上がろうと思っていたのでございます。たびたびお出かけを願って、まことに恐縮の至りにぞんじます。」と、主人はいいました。

「さだめし、軽く、薄手にできたであろう。」と、役人はいいました。

「これでございます。」と、主人は、役人にお目にかけました。それは、軽い、薄手の上等な茶わんであります。茶の地は真っ白で、すきとおるようございました。

【小川 未明「殿さまの茶わん」より】

問1 線部①ある国に有名な陶器師がありましたとありますが、この陶器師の性格を表している言葉を文章から二文字で書き抜きなさい。

問2 線部②なんという立派なさらだろう。また、茶わんだろうとありますが、立派な陶器の特徴を文章から二つ書き抜きなさい。

解答

問1 正直

問2 軽い、薄手

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ある日のことでございます。お釈迦様（しゃかさま）は極楽の蓮池（はずいけ）の縁を、独りでぶらぶらお歩きになっていらっしやいました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のように真っ白で、そのまん中にある金色のずいからは、なんともいえないよい匂いが、絶え間なく辺りへあふれております。極楽はちょうど朝なのでございましょう。

やがてお釈迦様はその池の縁におたたずみになって、水の面を覆っている蓮の葉の間から、ふと下の様子をご覧になりました。

この極楽の蓮池の下は、ちょうど地獄の底にあたっておりますから、水晶のような水を透き通して、三途（さんず）の河や針の山の景色が、ちよほどのぞき眼鏡を見るように、はっきりと見えるのでございます。

するとその地獄の底に、犍陀多（かんだた）という男が一人、他の罪人と一緒にうごめいている姿が、お目にとまりました。この犍陀多という男は、人を殺したり家につけたり、いろいろな悪事をはたらいた大どろぼうでございますが、①それでもたった一つ、善いことをいたした覚えがございます。と申しますのは、ある時この男が深い林の中を通りますと、小さな蜘蛛（くも）が一匹、道端をはっていくのが見えました。そこで犍陀多は早速足を上げて、踏み殺そうといたしましたが、「いや、いや、これもちいさいながら、命のあるものにちがいない。その命をむやみにとるといふことは、いくらなんでもかわいそうだ。」と、こう急に思い返して、とうとうその蜘蛛を殺さずに助けてやったからでございます。

お釈迦様は地獄の様子をご覧になりながら、この犍陀多には蜘蛛を助けたことがあるのをお思い出しになりました。そうしてそれだけの善いことをした報いには、できるなら、②この男を地獄から救い出してやろうとお考えになりました。幸い、そばを見ますと、翡翠（ひすい）のような色をした蓮の葉の上に、極楽の蜘蛛が一匹、美しい銀色の糸をかけております。お釈迦様はその蜘蛛の糸をそっとお手にお取りになって、玉のような白蓮（びやくれん）の間から、はるか下にある地獄の底へ、まっすぐにそれをお下ろしなさいました。

【芥川 龍之介「蜘蛛の糸」より】

問1 —線部①それでもたった一つ、善いことをいたした覚えがございます。とありますが、どのような善いことをしたのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 深い林のなかで道をはっている蜘蛛が邪魔だと思っただが、踏み殺さなかったこと。

イ 命をむやみにとるのはかわいそうだという理由で蜘蛛を踏み殺さなかったこと。

ウ 犍陀多が地獄にいるのはかわいそうだという理由から蜘蛛の糸をたらししたこと。

エ 犍陀多が蜘蛛を助けたという理由から、蜘蛛の糸をたらし、救い出してやろうとしたこと。



問2 —線部②この男を地獄から救い出してやろう

とお考えになりました。とありますが、お釈迦様がこの男を救い出そうと思っただのは、どのような考えからですか。文章から九文字で書き抜きなさい。

解答

問1 イ

問2 善いことをした報い

6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

皆さんは、①ナイチンゲールという人物を知っているだろうか。戦争で傷付いた兵士たちを、敵味方の区別なく看護したことで知られるイギリスの看護師である。自ら志願して戦地の病院へ行き、看護を献身的に行って広い病院の中を毎晩見回った。それまで治療が難しかった多くの入院患者の命を救い、国内で英雄として尊敬され「白衣の天使」と呼ばれるようになった。

私は、小学生のときに読んだ本で初めてナイチンゲールを知った。小さい頃の私は、苦しいことやつらいことがあるとすぐに投げ出してしまいうことが多かったため、自分とは正反対の人だと感じただけで、それほど印象には残らなかった。中学校の授業で歴史上の偉人について調べることになり、ふとナイチンゲールを思い出した。

図書館の資料には「看護師として働いたのは二年間ほどで、その後五十年以上は病気のためにベッドの上で生活していた」とあった。体の具合が悪くても、病院を清潔に保つための環境改善を訴え続け、看護師を育てるための本を書き、仕組みをつくったナイチンゲール。自分を犠牲にしてまで病気で苦しむ人々を救う必要があったのだろうかと思った。しかし、そうして挑戦し続けたことで偉人と呼ばれるようになったのだろう。人々を救おうという気持ちが強かったのかも知れない。調べていくうちにこの人物のすごさを知った。

偉人というのは、偉大なことを成しとげるために挑戦し続けることができた人のことを言うのではないかと思う。人にはそれぞれ夢がある。その夢がかなうかどうかは挑戦している時には分からない。しかし、努力が報われることを信じて努力を続けること。それこそが何より大切なことだと、私はナイチンゲールの人生を通して学んだ。

問1 | 線部①ナイチンゲール が看護師として働いたのは何年間ですか。漢数字で書きなさい。

年間

問2 ナイチンゲールの人生から筆者が学んだこととして、最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 敵や味方など、人を関係なく助けることの大切さ
- イ 人のために仕事をすることで、国に認めもらうこと
- ウ 自分の体の具合が悪くとも、人のために尽くすこと
- エ 自分がしていることを信じて努力を続けること



解答

問1 二
問2 エ

7 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私たちが住む日本では、蛇口をひねれば冷たくて安全な水が出る。水は飲むだけでなく、身体を洗う時、料理をする時、トイレの時など、いつでも使いたい分だけ使うことができる。①水は生活の中で、欠かせない大切なものである。

しかし、②世界ではきれいな水が身近にない国がある。

先日、日本の技術者が海外に行つて井戸を掘るといふドキュメンタリー番組を見た。その国では、池の水や、雨が降つた時にたまった水を生活に使っていた。濁つていて泥水のようにしか見えなかったが、人々にとっては大切な水である。

井戸を掘るための機械は思ったより小さかった。木の柱を建てて筒のような物を地面に打ちつけ、筒の中に入った土を取つてまた打ちつける作業を、繰り返し行つた。始めは順調だったが、進むにつれて岩の層に当たつて掘り進められなくなった。そこでは、技術者が考えた様々な方法を使つて、少しずつ掘り進めていった。技術者のアイデアにはとても驚かされた。

長い時間をかけて井戸が完成した。そこに住む人々が泣いて喜んでいた。それまでの私にとって、蛇口からきれいな水が出ることは当たり前だった。水は使いたい分だけ使えるものだった。しかし、この番組を見て初めて、水を大切に使うと心の底から思った。使い続けなくてはならないと思つた。水を大切にしようと思つた。意識する人間が増えれば増えるほど、地球上で、安全できれいな水を飲める人が増えるのではないだろうか。

問1 | 線部①水は生活の中で、欠かせない大切なものである。とありますが、このように意識する人が増えれば、地球上ではどのようなことが起きると筆者は述べていますか、書きなさい。

問2 | 線部②世界ではきれいな水が身近にない国がある。とありますが、世界には、どのような水を使っている国があると筆者は述べていますか。適切ではないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 池の水
- イ 雨が降つた時にたまった水
- ウ 泥水のように濁つた水
- エ 井戸水

解答

問1 安全できれいな水を飲める人が増える。

問2 エ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

最近、テレビで①地球温暖化による被害が取り上げられています。地球温暖化は、地球や人間に重大な危機をもたらします。南極ではここ十年で三つの棚氷（たなごおり）が崩壊しています。温暖化がこのまま進行すれば、生態系は崩壊し、食料難の恐れもあると言われています。このような重大な危機をもたらす地球温暖化について、現在、どのような解決策が取られているのか、また、我々人類は、一人一人がどのような方法をとればよいのか、考えてみました。

そもそも地球温暖化の原因は何か。それは、人間の活動による温室効果ガスの増加である可能性が高いと考えられています。十八世紀半ばの産業革命の開始以降、人間の活動による化石燃料の使用やそれによる森林の減少などにより、大気中の温室効果ガスの濃度は急激に増加しました。この急激に増加した温室効果ガスにより、大気の温室効果が強まったことが、地球温暖化の原因と考えられています。

地球温暖化は、「水資源などへの影響、水不足の発生」「豪雨、干ばつなどの異常気象」「生態系への影響」などの被害をもたらすと言われています。

世界では、どのような対策をとっているのでしょうか。先進国全体で六種類の温室効果ガスを、二〇〇八年から二〇一二年までに一九九〇年に輩出していた量よりも、五・二パーセント削減するという約束をしました。日本では、六パーセント減らすことを約束しました。

地表の平均温度は、地球温暖化により、一九五〇年には約十三・八度だったのが、二〇〇〇年には約十四・六度と、毎年上がり続けています。二酸化炭素の濃度も、一九五〇年には約三百二十ppmだったのが、毎年増え続け、二〇〇〇年には、約三百七十七ppmとなっています。

このように地球温暖化は悪化していく一方です。こうした中で、私たちが一番大切にしていかなければならないのは、②一人一人が、小さくても少しずつできることを継続していくことだと思います。継続は力なりというように、こつこつと積み重ねていくことが、地球温暖化を阻止することにつながります。私たちがすぐに行えることとしては「エアコンの使用を控える」「テレビを見る時間を減らす」などが考えられます。このような身近な取り組みをこつこつと積み重ねていくことが大切だと思います。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 ー線部①地球温暖化の原因は何だと筆者は述べていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 南極で、ここ十年で三つの棚氷が崩壊していること
 イ 人間の活動による温室効果ガスの増加
 ウ 十八世紀半ばの産業革命
 エ 「水資源などへの影響、水不足の発生」「豪雨、干ばつなどの異常気象」「生態系への影響」



問2 ー線部②一人一人が、小さくても少しずつできることを継続していくこととありますが、筆者が具体的に挙げていることを文章から二つ書きなさい。

--	--

解答

問1 イ

問2 エアコンの使用を控えること

テレビを見る時間を減らすこと

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ここに茶わんが一つあります。中には熱い湯がいっぱいはいっております。ただそれだけではなんのおもしろみもなく不思議もないようですが、よく気をつけて見ていると、だんだんにいろいろの微細なことが目につき、さまざまの疑問が起こつて来るはずです。(中略)

白い茶わんにはいつている湯は、日陰で見れば別に変わつた模様も何もありますが、それを日向へ持ち出して直接に日光を当て、茶わんの底をよく見てごらんなさい。そこには妙なゆらゆらした光った線や薄暗い線が不規則な模様のようになつて、それがゆるやかに動いているのに気がつくでしょう。これは夜電燈の光をあてて見ると、もつとよくあざやかに見えます。(中略)

次に、茶わんのお湯がだんだんに冷えるのは、湯の表面の茶わんの周囲から熱が逃げるためだと思つていいのです。もし①表面にちやんとふたでもしておけば、冷やされるのはおもにまわりの茶わんにふれた部分だけになります。そうなるのと、茶わんに接したところでは湯は冷えて重くなり、下のほうへ流れて底のほうへ向かつて動きます。その反対に、茶わんのまん中のほうでは逆に上のほうへぼつて、表面からは外側に向かって流れる、だいたいそういうふうな循環が起こります。よく理科の書物なぞにある、ビーカーの底をアルコール・ランプで熱したときの水の流れと同じようなものになるわけです。

しかし茶わんの湯をふたもしないで置いた場合には、湯は表面からも冷えます。そしてその冷え方がどこも同じではないので、ところどころ特別に冷たいむらができます。(中略) 従つて湯の中までも、熱いところと割合にぬるいところとがいろいろに入り乱れてできて来ます。これに日光を当てると熱いところと冷たいところとの境で光が曲がるために、その光が一樣にならず、むらになって茶わんの底を照らします。そのため、②さきと言つたような模様が見えるのです。

【寺田 寅彦「茶わんの湯」より】

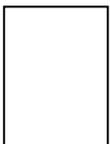
問1 ー線部①表面にちやんとふたでもしておけばとありますが、ふたをしない場合、湯はどうなるかと筆者は述べていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア まわりの茶わんにふれた部分だけが冷やされ、まん中は熱いままになる。

イ 茶わんのまわりの湯が冷えて重くなり、下の方へ流れて湯が循環する。

ウ 茶わんの底の方でうずを巻き、熱い湯と冷たい湯が交互に上にながつてくる。

エ 茶わんの表面とまわりから冷え、熱いところとぬるいところのむらができる。



問2 ー線部②さきと言つたような模様とは、どのような模様ですか。それが説明されている一文を探し、最初の五文字を抜き出ささい。

解答

問1 エ

問2 そこには妙

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

われわれが日常ちゃんと決まった意味があるように思っ
て使っている言葉の中には、科学的にはその意味が極めて漠
然としたものがかかなり沢山ある。この数年来雪の研究を始め
てみて気が付いたのであるが、①その種の言葉の良い例が
「粉雪」である。

(中略)

北海道では、冬の初めと終わり頃には牡丹雪(ぼたんゆき)
も降るが、真冬の間は殆ど(ほとんど)粉雪ばかりであると
いうような事がよくいわれる。この場合の粉雪というのは牡
丹雪に対する言葉であって、それは雪片の状態の名称とまず
見るべきであろう。雪の結晶の中には普通よく写真に撮られ
ているような六花状のものの外にいろいろな変わった形の
もの、角柱状のものなど、非常に沢山の種類がある。

(中略)

粉雪という言葉が雪質を表すものとして使うとすると、そ
れは湿雪あるいは俗にべと雪という言葉に对照させてみる
のが一番早道である。雪がさらさらするほど上質の粉雪で、
べとつくほどスキーには適しなくなるのは周知のことであ
るが、このような問題を科学的に取り扱うとなるといまさら
のように、「科学の言葉」の不足に悩むのである。粉雪の問
題をもし物理的に取り扱うとすれば、まず「さらさらの度」
を測る要素を見出さねばならぬのである。そしてその尺度で
測ったさらさらの度合いが、スキー滑走の場合のいろいろな
力学的要素を直接支配するか否かを調べてみて、もし直接の
関係が見出されたら、初めてその尺度が求める粉雪の性質を
表すものとして採用できるのである。

【中谷 宇吉郎「粉雪」より】

問1 —線部①その種の言葉とは、どのような言葉
のことですか。文章から二十文字で書き抜きなさい。

問2 雪について筆者が述べているものとして、最も
適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 北海道では、冬の初めと終わりに一番よく降る
のが粉雪である。
- イ 粉雪とは、科学的に意味づけられており、その
大きさも決まっている。
- ウ 粉雪は、雪片の状態や雪質など、色々な視点か
らの呼び名である。
- エ 雪の結晶の種類は、六花状のものと角柱状のも
の二つのみである。

--

解答

問1 科学的にはその意味が極めて漠然とした
もの

問2 ウ